

## 4 漁村の活性化

### 現状・課題

- 本市は山川海の資源を内包しておりますが、沿岸や河川地域で水産資源を有する優位性を生かすきれない状況のため、漁業や観光業などの振興を図りながら魅力的な地域づくりを進める必要があります。
- 沿岸地域では、高齢化や人口減少が進んでいるため、交流人口の拡大による活性化が必要です。

【漁村地域の10年間の人口の推移】

(単位：人)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
人数	9,060	8,844	8,680	8,450	8,230	7,996	7,725	7,499	7,259	7,026

出典：鶴岡市 町別世帯人口集計表から抜粋

※加茂, 豊浦, 五十川, 温海, 大岩川, 小岩川, 早田, 鼠ヶ関の各年4月30日時点の合計

### 施策の方向性

- 交流人口の拡大による漁村の活性化を図るため、漁港施設での海業※の展開（6次産業化施設等への転用）に関する意見交換、調査を行うとともに、漁業者、仲買人、料理人等による地場産魚介類を活用した直売や食事提供など、漁業と観光業が融合した連携事業を推進します。
- ※海業(うみぎょう)とは、海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業で、国内外からの多様なニーズに応じて、地域のにぎわい、所得、雇用の創出が期待されるもの。
- 魚食文化の継承と漁村の活性化を図るため、食文化創造都市推進事業や「食の都庄内」ブランド戦略会議等と連携して、水産資源を生かしたイベント等の実施を支援します。
  - 鼠ヶ関を中心とする海岸地域の活性化を図るため、日沿道鼠ヶ関 IC(仮称)周辺での道の駅整備を見据えた、漁業者等による水産物販売などの取組を支援します。
  - 由良地区を中心とする海岸地域の活性化を図るため、地元関係者とともに「旧遊漁センター」を活用した地域活性化策を検討します。
  - 加茂地区を中心とする海岸地域の活性化を図るため、漁業者等による「渚の交番」での水産物販売や漁業体験、海洋教育などの取組を支援します。
  - 赤川流域から海岸までの地域の活性化を図るため、市が県、漁業者、遊漁者等と連携して研究会を組織し、川と海を回遊する魚を活用した地域活性化の取組を進めます。

## 数値目標

### ■由良海洋釣り堀の入込客数

【方向性】令和4年度実績の1.1倍に増加させます

(単位:人)

第2次計画 実績	2020 現状	—	—	2021 R3	2022 R4	2023 R5
	6,646	—	—	6,538	6,962	(集計中)
第3次計画 目標	2022 直近実績	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10
	6,962	7,190	7,310	7,430	7,540	7,660

出典：由良自治会活性化委員会から聞き取り

※令和2年度から、運営主体である由良自治会活性化委員会が、海洋釣り堀の営業日を「4～10月の土日祝日と夏休み期間」にしたため、令和2年度の入込客数を現状値とします。

※数値目標は、「3 水産物の高付加価値化と消費拡大」の数値目標、漁獲量と魚価の考え方とそろえて、令和4年度の実績を令和10年度までに1.1倍に増加させることとします。

### ■魚介類を活用したイベントの入込客数

【方向性】令和4年度実績の1.1倍に増加させます

(単位:人)

第2次計画 実績	2017 現状	2019 H31, R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5
	20,800	15,700	0	0	4,060	(集計中)
第3次計画 目標	2022 直近実績	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10
	4,060	4,200	4,260	4,330	4,400	4,470

出典：イベント主催者から聞き取り

※コロナ禍でイベントが中止され、コロナ禍の収束後も5つあったイベントが3つに減少したため、入込客数が現状値から大幅に低い水準で推移しております。

※数値目標は、「3 水産物の高付加価値化と消費拡大」の数値目標、漁獲量と魚価の考え方とそろえて、令和4年度の実績を令和10年度までに1.1倍に増加させることとします。

## 具体的な取組み

項目・内容	実施年次				
	6	7	8	9	10
(1) 漁業を生かした交流人口の拡大					
◎ 利用度の低い漁港での海業の展開を検討します(県漁協・国・県と連携) ・漁港施設の6次産業化施設等への転用の検討、調査 【県漁協・国・県・市】、利用度の低い漁港の機能再編と合わせて検討、随時	○	○	○	?	?
◎ 漁業者、仲買人、料理人等による地場産魚介類を活用した直売、食事提供の実施など、漁業と観光業との連携事業を支援します(県との連携)	○	○	○	○	○

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業検討者との相談 【市】，随時</li> <li>・がんばる水産業応援事業 【市】，漁業者の生産性向上等に向けた設備投資の補助，補助率 50%，上限 600 万円</li> <li>・水産業成長産業化支援事業 【県・市】，漁業者の生産性向上等に向けた設備投資の補助，補助率 50%，上限 600 万円</li> </ul>					
<p>漁村地域に伝わる魚食文化を生かした事業を支援します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源や魚食文化を生かした調理実習イベント等の支援 【市】，魚食文化の継承に向けた調理実習等，随時</li> </ul>	○	?	?	?	?
<p><b>(2) 地域固有の資源を活用した漁村活性化</b></p>					
<p>産地卸売市場の統合も含めた産地市場活性化対策を検討します (県漁協・県と連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産地市場の在り方に関する意見交換 【県漁協・県・市】，由良と鼠ヶ関の市場や周辺地域の活性化等の検討，随時</li> </ul>	○	○	○	○	○
<p>○ 日本海沿岸東北自動車道 鼠ヶ関 IC(仮称)周辺での新道の駅整備を見据えた漁業や観光の振興など総合的な地域活性化を推進します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温海地域水産物販売実証実験事業 【市】，道の駅整備に関連した鮮魚販売等の調査・研究事業，定額補助</li> </ul>	○	○	○	○	○
<p>◎ 地元関係者との連携による旧遊漁センター(由良海洋釣り堀、フィッシングセンター)を活用した由良地区を中心とする海岸地域活性化を推進します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港漁村活性化支援事業 【市】，施設の維持管理(釣り堀の浚渫，設備修繕等) 随時，施設を活用した地域活性化に関する検討 4 回程度/年</li> </ul>	○	○	○	○	○
<p>○ 漁業者等による加茂の「渚の交番」を活用した地域活性化を推進します(県漁協・県との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「渚の交番」関係者との意見交換 【市】，「渚の交番」を活用した加茂地区を中心とする海岸地域の活性化に関する検討，随時</li> <li>・海洋教育推進事業 【市】，小中学校の海洋教育(座学，海洋スポーツ体験等)の支援，定額補助</li> <li>・がんばる水産業応援事業 【市】，漁業者の生産性向上等に向けた設備投資の補助，補助率 50%，上限 600 万円</li> <li>・水産業成長産業化支援事業 【県・市】，漁業者の生産性向上等に向けた設備投資の補助，補助率 50%，上限 600 万円</li> <li>・山形県海洋教育研究協議会への参画 【県漁協・県・市】，沿岸部の保育園，小中高校等の「渚の交番」活用の推進，随時</li> </ul>	○	○	○	○	○
<p>○ 漁業者等が参画する研究会によるサケ等(川と海を回遊する魚)を活用した地域活性化を推進します(県との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会での勉強会や意見交換 【県・市】，赤川流域や海岸部でのサケを活用した活性化に関する検討(R3 から試験放流しているサケの回帰状況を確認し，活性化策がまとまり次第事業化に移行)，随時</li> </ul>	○	○	?	?	?

※具体的な取組みについては、5ヶ年間を記載し、毎年見直しを行います。